



佐々木 英徳 議員



英語教育について

問 岡山県奈義町^{なぎちょう}では、英語教育の効果もあり、出生率が2.95%上昇している。まさに英語教育によるまちづくりである。グローバル化が進む現代において、子どもたちが異文化の人々と気後れせずコミュニケーションを取れるようになるための重要な取り組みである。教育長の考えを伺う。

答（教育長） 市在住の外国人の

増加により、英語のコミュニケーション能力は重要さを増している。本年度から中学校で導入した、ジョイタイムというオンライン英会話プログラムは生徒の関心が高く、次年度は小学校まで導入の対象を拡大するなど充実させていく。児童生徒の英会話力の向上を目指すとともに、英語学習が好きになるような取り組みを推進していく。



地方就職学生支援事業について

問 若者の移住定住は地域の活

力向上や経済活動の活発化、人口減少の抑制に寄与し、持続可能な地域社会の形成に重要である。古河市でも、若者のU・I・Jターンを促進するために、奨学金返還支援事業と地方就職学生支援事業の導入について伺う。

答（産業部長） 地方就職学生支援事業は県が実施しており、地方自治体による奨学金返還支援を要件としている。市独自の奨学金返還支援については、対象条件などの課題があり、導入に至っていない。市への定住、就職は大変重要な課題と認識しており、合同企業説明会など市内就職に向けた対策についても検証し、よりUターン就職に効果のある事業に取り組んでいく。



鶴見 久美子 議員



防災対策について

問 大規模災害時に必要不可欠となるのが避難所である。避難生活の中では、プライバシーや生活環境などに問題があり、女性や高齢者の声が届きにくいなどの意見がある。特に女性の視点は避難所運営にも影響が大きい。①防災担当や避難所運営等における女性職員の確保、②食料、女性や妊婦用、子どもや高齢者対応の備蓄品、③授乳服備蓄セットの導入、以上について

伺う。

答（総務部長兼危機管理監） ①本年度より防災所管内に1名配属した。避難所担当の女性職員を全体の4割とする目標を掲げており、今後も女性職員の継続的な配属を考えていく。②水や食料、女性の生理用品、哺乳瓶、離乳食と高齢者向けであるかゆのレトルトパックを備蓄している。③授乳に供するスペースがなくとも、その場で授乳できるものなので導入の参考にする。

児童生徒の健康について

問 子どもたちの成長を見守る大事な健康診断を不登校の児童生徒は受けられない。①不登校の児童生徒への対応、②吹田市の学校外で健康診断が受けられ

る取り組みについて課題と所見、以上について伺う。

答（教育部長） ①学校医の医療機関で直接受診するよう、保護者へ連絡している。この場合、受診に係る保護者負担はない。②受診するかの最終判断は保護者に一任しており、結果、児童生徒の受診率が100%に達しない状況である。吹田市など他自治体の事例を参考に、未受診者をなくすためにも、受診しやすくなる環境づくりに努めたい。

